京城日報
朝刊
朝夕刊共八頁

社説

内閣臨戰體制

第二次近衛内閣は太平洋の國際を除いて平和を確立すべく最大限の努力を傾けた。そのことは我國民の理解と輿論の許し得る最大限以上のものであつた。然るにこれに對する米國の態度は周知の通りであつて、曾にこの平和の交渉に對して冷淡であるばかりでなく、逆に、自ら對日包圍陣の主力となつて西南太平洋、亞細亞大陸において對日攻勢を強化した。それは殆ど間髪の攻撃と撰ぶところなき紙一重の敵對行動であつて、このことは米國人の參謀が重慶軍を指揮し、或は奥地支那に共同の空軍根據地を設けてゐる事實を以て見るも明かなことである。

◇

隨つて、これに對する我方の態度は、實に皇國の運命を決し、同時に世界の運命を決するやうな重大性を帯びて來てゐる。政府は總辭職に際し國策遂行の方途に關し、遂に意見の一致を見ること能はざるに立ち到つた―と聲明してゐるが、國民はこの簡單なる發表の中に何があるかといふことは直ちに直感することが出來る。これは、飽迄平和に徹せんとした近衛内閣の方策が彼等の横車のため水泡に歸し、内閣それ自體が、臨戰體制とならざることを意味してゐる。この東條陸相が重臣會議一致の推擧を以て大命を拜したことによつて益々明かになり、その後の閣僚の銓衡振りは一層これを明瞭ならしめてゐる。即ち今回の政變は内閣の臨戰體制化と稱すべきところに意義がある。

◇

わが國民は世界の何人よりも太平洋の平和を希つてゐる。而してその平和は飽迄天下の公道に基く公正なる平和でなければならぬ。我々は既に最大限以上の理智と隠忍をもつて、この平和のために努力したのであるが、この努力は彼等の狡智極まる利己主義と自己陶醉とに依つて空しく消え去らんとしてゐるのである。東條大將は剛毅果斷を以つて一世に鳴る武人である。この一髮千鈞の危機に方つて我は新首相の果斷に信頼し、過去の政策決行を切望するものである。

國防國家體制完備
聖業達成に邁進
首相・政府聲明を發表

【東京電話】東條首相は十八日午後六時初閣議散會後首相官邸において内閣記者團と初會見を行ひ左の如き政府聲明を發表した

支那事變を完遂し大東亞共榮圈を確立して世界平和に寄與するは帝國不動の國是なり、今や未曾有の重大世局に臨む、政府は外愈よ盟邦との交誼を厚うし、内益々國防國家體制を完備し　御稜威の下擧國一體、聖業の達成に邁進せんことを期す

東條新首相放送

【東京電話】東條新首相は十八日午後七時初閣議散會後首相官邸よりAKのマイクを通じ「大命を拜して」と題し全國民に左の如く新内閣の抱負と信念を放送した

未曾有の重大世局に際會して不肖端らずも大命を拜し恐懼感激の至りであります、時難突破の途は御稜威の下、ただ鐵石の意志と迅速的確なる實行とにありと確信する次第であります、不肖はこの信念に基き不退轉の意氣をもつて率先先頭に立ち國務を處理し皇謨を翼贊し奉らんことを固く決意致してをります、帝國不動の國是が支那事變を完遂し大東亞共榮圈を確立して世界平和に寄與するにあることは申すまでもないが、擧國一體強き確信をもつて邁進するところ必ずこれを貫徹し得るものと信ずる次第であります、幸ひに國民諸君の御信頼と御協力とを得、相倶に御稜威の下、もつて皇國二千年の歴史を彌が上にも光輝あらしめんことを期したいと存じます

東條中將、大將に進級

【東京電話】内閣總理大臣東條英機中將は十八日陸軍大將に親任せられ同日午後五時宮中鳳凰間においてその親任式が執行せられた、右につき陸軍省より同日左の如く發表された

陸軍省發表（本日左の通り發令せられたり）

任陸軍大將　陸軍中將從三位勳一等　東條英機

横鎭長官　平田昇中將

【東京電話】十八日海軍省公表＝嶋田横鎭長官の海相就任により前任者及川大將は軍事參議官に補せられ横鎭長官の後任には海上某要職にあつた平田昇中將が親補せられた、十八日午後五時卅分海軍省より左の如く發令された

海軍省公表（本日左の通り親補せられたり）

補軍事參議官　海軍大將　及川古志郎
補横須賀鎭守府司令長官　海軍中將　平田昇

政綱、政策別に發表せず

【東京電話】東條新内閣は十八日の初閣議で「既定國策の遂行に邁進する」旨を申合せ、東條首相の「政府發表」により國政處理の根本方針を明かにしたが從來の内閣の如く、その政綱政策は別に發表せずその施策はすべて「既定國策の强力なる遂行」に集中して國防國家體制の確立に一路邁進することとなつた

兩總裁、親任式

【東京電話】東條首相以下各閣僚の親任式に引つゞき對滿事務局總裁ならびに情報局總裁の親任式は十八日午後四時半執り行はせられ情報局より左の如く發令された

情報局發表

各大臣の親任式に引つゞき左の通り親任式が行はれた

兼任對滿事務局總裁　陸軍大將從三位勳一等　東條英機
任情報局總裁　正四位勳一等　谷正之

首相さゝや新任奉告に西下

【東京電話】東條首相は伊勢大廟に新任奉告のため同日午後十一時

近衛公、平沼男に前官禮遇

【東京電話】前首相近衛文麿公ならびに前國務相平沼騏一郎男は十八日特に前官たるの禮遇を賜ふ旨左の如く御沙汰あらせられた

從一位勳一等公爵　近衛文麿
特に前官の禮遇を賜ふ
正二位勳一等男爵　平沼騏一郎
特に内閣總理大臣たる前官の禮遇を賜ふ

近衛首相以下辭表聽許

【東京電話】留任閣僚を除き近衛首相以下各閣僚の辭表は十八日聽許され依願免本官が發令された

近衛前首相微恙

【東京電話】近衛前首相は辭職後荻窪の私邸に引籠つてゐたが、昨夕發熱して臥床靜養中である

兒玉厚生次官辭任

【東京電話】兒玉厚生次官は十八日病氣の故をもつて小泉厚相に辭意を表明した

華北官民期待

【北京十八日同盟】東條内閣の出現は日本の國策遂行が強化され支那事變處理に拍車をかけられるものとして當地官民は多大の期待をかけてゐる、すなはち今次の東條内閣は國家が向はんとする方向を毅然として示し混沌たる國際情勢に處してもこれを敢然として處理して行く實行力ある内閣である

内務次官湯澤氏
拓務次官は荒川氏か

【東京電話】東條兼任内相の女房役たる内務次官は十八日夜元内務次官産報理事長の湯澤三千男氏と決定發表された

正四位勳三等　湯澤三千男
任内務次官（一等）

【東京支社電話】新内閣の拓務次官は對滿事務局次長荒川昌二氏に決定した模様である

新銳、俊敏の感
新内閣に磐石の信頼
城大教授　尾高朝雄

國民が多大の期待と信頼とを懸けてゐた第三次近衛内閣が組閣後僅か三ケ月で總辭職を行つたといふことは、誠に遺憾であつた

しかし、その理由が、閣内の意見の一致を見ることが出來なかつたためといふのであれば、これは致し方がない、この際、指導中樞の足並が揃ふといふことは、何よりも大切だからである

新内閣は、その點で、固い結束力と明確な指導力とを持つものであるに相違ないと信ずる、危機に際會して深謀熟慮を重ねるといふことは、もとより必要である、しかし、單なる深謀熟慮だけでは、好機を逸する場合がないとはいへない、機會を間髪で捉へ、確立された方針に向つて堂々とわき目もふらずに前進するといふのが、かやうな重大時機における國政擔當者の態度でなければならぬ

新内閣はいはゆる大物主義によつて成り立つてゐないだけに、新銳、俊敏の感を與へる、國民はよろしく此の新たなる指導者に磐石の信頼を置き、いかなる事態が發生しようとも、鞏固の團結を固めて難局の打開に邁進すべきである

☆ ☆ ☆

難局の打開に首相は最適材
大いなる期待を抱く
南總督談

南總督は東條新内閣の成立につき十八日午後四時次の如き談話を發表した【寫眞＝南總督】

南總督談話

國際情勢極めて重大なるの秋、大命東條陸軍大臣に降下し僅に一日にして組閣を完了し陸相、内相を首相兼任とする溌剌たる少壯内閣の態勢を整へたることは誠に慶賀に堪へない、東條首相は資性英邁にして沈毅果斷現下の難局打開には最も適材なるをもつて國策遂行の上に必ずや力強き方途を以て東亞共榮圈の確立に一大進展を示すものとして大なる期待を抱くものである

華北における指導方針は聊かも變化なく其の特殊性をより強力に發揮し東亞共榮圈の確固たる建設に邁進さるべきものとしてゐる

新内閣初閣議

【東京電話】東條内閣の初閣議は十八日親任式終了後午後五時廿五分より首相官邸において開催、東條首相以下全閣僚出席のうへ、まづ東條首相より非常時局に際して強力に國策遂行に邁進すべき旨の確固たる信念を披瀝し、各閣僚ともに全幅的にこれを支持する決意を表明し、國策遂行に一路邁進することを申合せて同五時五十分散會した

翼贊會副總裁
安藤紀三郎中將内定

【東京電話】柳川翼贊會副總裁辭任による後任は新民會副會長安藤紀三郎陸軍中將に内定した

鈴木企畫院總裁近衛公訪問

【東京電話】鈴木企畫院總裁は十八日午後七時初閣議終了後、荻窪の自邸に病臥養中の近衛公を訪問、留任の挨拶を兼ね

南支軍報道部長更迭

【廣東十八日同盟】南支軍報道部長作間喬宜大佐は今回現地〇〇部隊長に榮轉、後任には

軍官民一體へ
嶋田新海相談

正義で進む
東郷新外相談

政府聲明の線に沿つて
寺島逓相談

政戰兩略の一體化
首相の陸相、内相兼攝で完璧

【東京電話】東條新首相は現役陸軍大將のまゝ陸相ならびに内相の二つを兼攝することとなつたが、現役將官の首相が陸相を兼攝した例はもちろん閣僚の椅子二つを兼攝したことはまだ前例のないところで軍政と内政を首相が一手に掌握したことは新内閣の性格を端的に物語るものである、現下重大なる内外情勢のもと國防國家體制を強化して事變の完遂と東亞共榮圈確立の二大使命を達成するために近衛前内閣はもつとも苦慮し大本營と政府との連絡會議を頻繁に開き軍政の緊密をはかつたが、十分に所期の目的を達し得なかつたところが今回東條新首相の陸相兼任によつて政戰兩略の一體化はここに完璧を期し得る態勢を作つた、之は時局の緊迫が要請するところとはいへ異常なる飛躍的現象で、なほ高度國防國家體制の完成は國民生活の安定と國内治安の確保とを根幹とするもので新首相の内相兼攝は往年の兒玉大將の内相兼攝以來かつてなかつた處で國防國家體制完成の上に絶對の意義を有するものといふべく首相の陸相内相兼攝によつて懸案の軍政内政の一如が具現されたのである

行政機構を改革
總力戰體制に最後の仕上げ

【東京電話】東條新内閣は現下の内外情勢にかんがみ第三次近衛内閣のあとを受けて一段と強力なる戰時國策の遂行に邁進するため、成立と同時に事變勃發以來歴代内閣の懸案にしていまだ實現を見なかつた行政機構の全面的改革による戰時體制化を斷行し、大政翼贊會による政治新體制の確立ならびに財政經濟新體制確立要綱にもとづく緊急産業體制の再編成と相まつて國内戰時體制の根幹を確立、もつて國策の急速果敢なる推進をはかることを前提條件たらしむることとなつた

すなはち國内諸體制が順次總力戰體制に再編されつゝある中にあつてその基底となるべき行政機構のみは依然として數十年に

新大臣、抱負を語る
有言實行
岸商相談

【東京電話】岸商工大臣は親任式を了したのち當面の商工行政方針に關し左の如く力強く語つた

今日の國際情勢は私の商工次官辭任當時とは違つてゐる、從つて最近の急激な新情勢の展開に對應して産業政策を實行してゆかねばなるまい、産業政策については産業界の向ふべき指表をはつきり明示し全責任をもつて實行する考へである、私は不言實行でなく有言實行である、具體的な商工政策の問題は從來の方向とは大差はない譯だが私はこの際物事をてきぱきと時期を失することなく簡素な方法で實行したい、當面の問題は重要産業團體令と行政機構の再編成の問題である、物價政策は低物價政策堅持に變りはなく貿易政策は大東亞共榮圈確立の國策の線に沿つて行ひ最近の日滿支貿易連絡協議會で決定した構想のもとにやつてゆくつもりである、さし當ては統制會の設立と豫算の問題があるが事務當局の意向もよく聞いてみなければ

困苦に耐へよ
賀屋藏相談

【東京電話】賀屋新藏相は十八日の初閣議散會後藏相官邸で左の如き談話を發表した

英米の資産凍結以來國際情勢は益々複雜緊迫化し、この間における日本の動向は世界の注目の的となつてゐるがわが國としてはあくまで支那事變處理を完遂し大東亞共榮圈を確立せんとする國策は微動不動である、然してこの大事業遂行のためには現

新内閣記念撮影

1東條首相、2橋田文相、3鈴木企畫院總裁、4小泉厚相、5井野農相、6嶋田海相、7東郷外相、8岩村法相、9賀屋藏相、10寺島遞鐵相、11岸商相、12森山法制局長官、13星野翰長、14谷情報局總裁

アメリカ商船に待避命令

ワシントン特電【十七日發】アメリカ海事委員會は十七日太平洋方面を航行中のアメリカ商船に対し

泰、深甚な關心

東條内閣と半島財界

急進展する歐洲大戰と複雜微妙を極むる國際情勢の眞ったゞ中に東條内閣は誕生した、この超戰時内閣の望ましくも力強い息吹きにわが半島財界は何を感じ何を求め、如何なる協力體制を執る覺悟であるか？在城財界諸士の意見を聽いてみる

内閣への期待 まづ事變處理

鮮銀總裁 松原純一

賀屋興宣氏の藏相就任は絶對贊成である、同氏はすでに藏相としての經驗があるのみでなく、支那事情に精通してをり、時に大陸經濟に豐富な經驗をもつてゐるので今後における大陸政策は刮目すべきものがあらう、いふまでもなくかゝる超非常時には眞に强力な内閣となつて國民の向ふべきところを明示して貰ひたい、新内閣の出現は半島財界には大した影響はないと思はれるが地下資源の開發は今後ますます促進されよう東條内閣への期待は先づ事變處理と統制經濟の强化、經濟新體制に基づく財政、金融基本要綱の具現化などである、賀屋氏の藏相就任によつて統制强化が期待されるが單に公債消化も從來のやうな對策に止まることなく積極的な對策を要しこの點賀屋新藏相の新方策を期待するものである

强權的政治を

朝鮮鑛業振興社長 萩原彦三

正直にいつて見當のつかない成行だが、陸軍の總理、岸、賀屋、星野、時の登場に新しい意圖と期待が望まれる、既定の國策に中ぶらりんでなしに斷行せねばならない以上産業統制も勵の强化一本でなければなるまい、財界の覺悟も決つてゐるとき重要産業統制令の一行方の如き官僚の偏倚はこの際排除、思切つた官廳機構の大改造と指導統率系統の整備を斷行期待する、拓務省的立場ある外地の産業政策における種々の迷惑の程は一掃して貰ひたい、その意味で總理の權限擴張が必要である、デモクラチックな組織の默待といたづらな法律論では時局の乘切りは出來ぬ、强權的政治が望まれる、賀屋藏相も北支で大分苦勞した人物であり事變處理には産業的に相當な抱負と信念を持つた積極性が期待される、岸、星野の性格も良からう、嶋田海相もどつしりした海の鐵將に相應しく、東郷外相は三國同盟の締結者であつて地味だが評判の好い人物である、强力……これが産業人の一人としての切實な叫びである

國防國家機能發揮を念願

金聯會長 松本誠

國内體制の確立を目指して組閣した第三次近衞内閣が事業半ばにして退くやうになつたことは甚だ遺憾であるが、國際情勢は一段と緊迫し來つたこの際、强力なる内閣が出來、殊に陸軍果斷の東條大將によつて組閣されたことは一般の心強く思ふところである、財政經濟政策については未だ發表されぬので何とも批判出來ぬが、現下の情勢では何人が大藏大臣になつても大差あるべきはずのものではなく民間でも經濟新體制にはすでに十分の覺悟が出來てゐるから財政經濟方針を明示して着々と斷行してほしいものである、軍官民一致國防國家機能を發揮高揚されんことを念願する、これが卽ち……賀屋さんは大藏大臣も經驗もある人であり財界に對する大きな期待である、井野さんの農林大臣は……ひを致し具體案を樹立して議會に提案すると言明してゐる人だから初志を完遂されるだらう、ことに内外地の糧食增産政策は理解の深い人であるから内外地緊密なる連絡の下に政策を推進することと思ふ

内閣の色彩鮮明

東拓理事 上内彦策

愈よ時局重大の秋の陣頭に立つた東條内閣の施政についてこれといふ具體的なことは知るよしもないが國民は期待してゐたのだから、來るべきものが來たといふ以外は、何ものもないだらう、内閣の顔觸れを見ると井野農相、賀屋藏相、星野書記官長といふところが目立つ、井野さんは前農相であり農村對策は不變だらう、賀屋さんは事變直後吉野さんとのコンビで戰時財政々策を樹立した人であるが、當時と今とは財政經濟も格段の相違である、しかし行方としては大體方面が決つてゐるのであるから、それを推し進めて行くには適當な人と思ふ、星野さんは相當積極的な人のやうであるから時局處理に突進することと思ふ、とにかく色彩は非常にはつきりした、何もかもが愈よ目的完遂のための……事の處理について如何に適切なるか……

政策遂行に協力

京城商議會頭 田川常治郎

新内閣の財政方針は闡明されてゐないので推測を許さぬが、國民は統制經濟が今後ますます强化されることを覺悟すべきである、賀屋氏の藏相就任によつて統制經理の强化も考へるべきである、かゝる有史以來の超非常時には國民として最も重大な決意を固め、進んで增税をも覺悟せねばならぬ、統制經濟の進展によつて商工業の經營は今後一層の困難を覺悟せねばならぬが、業者はこの際新政府の經濟政策遂行に協力して國家總力戰の實を擧げねばならぬ

め一切のものが突進する秋が來たと思ふ、財界といはず政界といはず、すべてが新内閣を全幅的に支持して邁進すべきであると思ふ

賀屋藏相に期待

殖銀頭取 林繁藏

支那事變勃發當時の藏相として非常時財政を切り盛りした經驗もあり最近は北支開發の總裁として支那事情に精通した賀屋藏相の登場は半島財界人として心強く意を表する、新内閣の顔觸れを見ると大藏大臣、商工大臣、農林大臣がいづれも若く氣持がピッタリ合ふやうに見受けられるし、それぞれ各省のホープと期待されてゐた人々である點も政策遂行上甚だ氣強く……施策を行ふかにあると思ふ

協力指導待望

朝鮮商銀頭取 田村浩

國民の各層から强力な政治的指導を待望してをり、すでに國民としての心構へは出來てゐるので、この上はその進むべき方向を明く指導することによつて示された方向へまつしぐらに驀進するにある、新内閣はいはゆる面目一新を突破して新たな姿勢から國策遂行に邁進するであらうが、かゝる意味で東條協力内閣の出現を喜ぶものである

目標へ突進だ

鮮銀理事 櫻澤秀次郎

東條首相に賀屋、寺島、岸、それに井野といつたスタッフが中軸となつてゐるのであらう、事變處理促進……

……内閣とでも名附けたら好いのぢやあるまいか、英米交渉の妥結は事變解決の基本條件であつて今更强硬の餘地があらうはずはない、井野の農林に對應して岸の商工の新官僚のホープだ、賀屋は大藏畑に青木、石渡とのトリオでこれまた革新官僚の一人、星野だつて機構上やり難かつた人だが、人物としては大きいし（手腕は期待される）思切つた切れ味が之等若い經濟官僚群からのぞかれてゐるやうに思はれる、結果は論外、ゆく途は强力、それを擔ふ人物は若くて積極的なんだ、我々財界人の決心も成つてゐるよ、これで少々の動搖なんか突き飛ばして目標に進むべきだ、それだ、現象的不安もすで……

統制愈よ强化

和信社長 朴興植

新内閣の商相は元次官の岸信介氏であり藏相もかつての藏相賀屋氏であるから經濟界に大した變化があるとは考へられない、しかし東條内閣の出現によつて國內の統制は今後ますます强化されるものと覺悟すべきであり同時に事變處理や南方問題も急速に解決されるものと期待される

總量一億枚 本叺年度の生産量

本年十一月より明年十月迄の米叺年度にかゝる生産量はさる十二日より本府第一會議室で開催された產業部長會議で總量一億枚と昨年と同樣の決定を見たが各道別割當量については本年度の稻作狀況及び作付反別により左の通り決定した

（單位萬枚）

道別	明年度	本年度
京畿	二、〇五〇	二、二四〇
忠北	八〇〇	八〇五
忠南	一、二〇〇	一、二一〇
全北	一、〇三〇	一、二六五
全南	一、〇三〇	九六六
慶北	一、一〇〇	一、〇八五
慶南	九〇〇	八〇五
黄海	五七〇	四六二
平南	三四〇	二五八
平北	三八〇	三七〇
江原	三〇〇	二六九
咸南	三〇〇	三〇五

なほ種類別には穀用四斗四千五百九十八萬枚、同三斗一千五百六十八萬枚、肥料用二千七百八十萬枚、鹽用八百二萬枚、鹽年用二百五十二萬枚である

東亞經濟懇談會朝鮮委員會 廿一日全體會議

東亞經濟懇談會朝鮮委員會では廿一日午後一時から京城商議第一會議室で大野政務總監以下本府局部課長、久米大藏省事務官、平木企畫院事務官、池田中國京城財在總領事、金滿洲國京城名譽總領事、海軍部官付黑木大佐、朝鮮軍白山主計中佐ほか多數臨席、京城商議會頭ほか各委員、幹事出席のもとに同委員會の第一回全體會議を開く

一、部會規則制定規定制定
二、顧問、參與指囑
三、十六年度收支豫算承認

の六件を附議、引續き二時から同所に懇談會總本部主催の日滿華經濟系統に關する懇談會を開催、三國間の物資交流について隔意なき意見を交換する

聯盟一ケ年の足跡

國民總力運動發足滿一ケ年、その間本府における國民總力運動指導委員會の前後實に卅一回、附議事項百四十二件を初め、總裁臨時に副總裁は最高指導者として機に應じ訓示、講演、ラジオ放送等にレコードの吹込等全鮮二千四百萬聯盟員の覺悟を促されつゝあり全鮮各種全團體亦聯盟の傘下に馳せ參じ運動の進展に寄與しつゝあるが、今過去一年間における聯盟の主なる實踐事項を擧ぐれば次の通りとなる

組織並に指導要綱整備

（十五年十月七日）總動員朝鮮聯盟組着手に際し總督談話發表（十四日）新體制要綱發表（十六日）新體制運動發足—道知事會議、役員招集

（十一月）實践要綱及び方策決定▲在城官吏職員中堅訓練役職員の打合會開催▲學校聯盟組織要綱決定

（十二月）下部組織の整備—常會の設置▲農山村生産報國實践要綱決定▲鑛山聯盟組織要綱決定

（十六年一月）商工業指導組織要綱決定▲輸導部要綱決定

（二月）家庭防護組合を愛國班に統合決定▲文化部指導方針決定

（三月）水産報國運動指導要綱決定

（四月）文化部實践大綱決定

戰時國民生活體制確立

（十五年十二月）町聯、部落聯盟等に婦人部設置

（十六年二月）特に婦人の實踐事項中日常生活の必行事項を擧げ實行方強調

（七月）戰時國民生活體制强化上主要實践事項の決定並に之が實踐の強調▲改善儀禮基準の遵守方強調▲資源愛護並に廢品回收の實行方強調

農山村生産報國運動

（十五年十一月）節米並に米穀供出運動展開

（十六年二月）荒蕪地の利用活用運動展開

（七月）自給肥料增産運動展開

（八月）農業物資の增産と米穀等の積極的消費節約並に供出斷行の强化

經濟部門の報國運動

（十六年四月）綿布、タオル、ゴム靴等の配給に隣組、愛國班を活用

（八月）新商業道德確立運動實施▲水産報國運動實施方法通達

（八月から十月）鑛山增産强調運動實施

國民皆勞運動

（十六年六月）全家勤勞及共同作業等を強化し勞力不足の解消を期し增産確保に邁進す

（九月）勤勞報國精神を徹底に昂揚し國民皆勞の實を擧ぐべく勤勞報國隊を結成し組織を整備すると共に之が趣旨の普及と實踐の徹底を期し九月二十一日至十一月二十日の間國民皆勞强調運動を展開す

貯蓄運動

（十五年十一月）米穀賣上代金の貯蓄勵行運動展開

（十六年三月から五月）貯蓄奨勵方策の決定通達

（五月）聯盟下部組織と機關を一體たらしむべき貯蓄組合の設置

（六月）六億貯蓄强調運動實施

訓練、講習、講演

（十五年十一月）在滿志願兵各道巡回講演會實施

（十六年一月から二月）各道每に推進隊錬成講習會開催

（四月）各道に推進隊連絡係設置▲長崎縣に在鮮志願兵を派遣巡回講演會開催

（六月）扶餘に於て内鮮一體理念徹底講習會開催

（八月）朝鮮神宮境内に於て中央指導者層の鍊成講習會開催

（九月から十月）金剛山に於て總力運動指導者鍊修所開設（二回）

（九月から十一月）各道巡回時局講演會開催中

一般的のもの

（十五年十一月）全鮮的に獻納運動實施（宮城遙拜は朝總督時より實施）

（十二月）積極的愛國日たらしむべく改善實施す

（十六年二月）本年の陸軍記念日を機會に全鮮聯盟員より「一錢獻金」を實施（十日）

（二月）常會にラジオ利用

（五月）全鮮各層代表者扶餘神宮勤勞奉仕實施（現在實施中）

啓發、宣傳施設

（十五年十月から十六年十月）目下開催中の戰時生活展覽會を合せ大小約十八回の展覽會を開催

（十六年二月）愛國日における映畫館等の場内放送實施

（五月）既刊の機關紙『愛國班』『國民總力』の外『總力運動讀本』を發刊（既刊第十一輯）

（六月）獸毒市の徽章を制定

（八月）歸鄉學生指導懇談會開催

（八月）映畫『日本の實力』完成、映畫令に依り强制上映

（九月）既實施のラジオ放送『國民總力の時間』（每月第二、第四木曜）の外『聯盟情報』（每月十五日、三十日）の放送開始

其の他

各種記念週間、行事等には徹ねて之が主催又は後援等なす

早大秋の制覇 六シーズンぶりに榮冠

3—1

【東京電話】六大學野球秋季リーグ戰最終日早大對立教、慶應對東大、明治對法政の三試合は快晴の十七日神宮球場で擧行、まづ今秋の制覇を決する早大對立教戰は球審天知、壘審角田、西村、長濱四氏審判で午前九時卅分早大先攻で開始、豫想通り石黑、好村の對戰となり、立教不動の陣營で之に對するに早大苦心の陣容をもつて相對したが、結局三對一で早大勝ち、早大は四勝一敗の成績をもつて昭和十四年春以來六シーズンぶりの制覇を遂げた

早大（先）	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3
立教	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

戰評 尻上りの上昇氣勢には……やる事實だけに接戰となつた、打力では立教が僅かに優り五回までの兩軍安打は立教七に對し早大……で劣勢をいなみ得なかつたが早大はすこぶる球運に惠まれ三一一とリードした、一回立教の一點が西本、綱島、好村と續く三連打のアンドランで收穫したのに比べ早大先取一點、三回の二點は何れも僥倖で獲得されたものである、すなはち一回は一死松井の三前セーフテーバントを山下間に合はず一壘へ高投したことから二壘の西浦が生還し三回は近藤の左翼線飛球が球を追ふ佐藤、島方、山下三者の眞中に落ちる幸運から前走者の京井を三進せしめ立教守備陣の狼狽に乘じ自らも二壘を占據した、揚句笠原の投球は好村の面前から僅かに高く跳ね上り辛ふじて一壘に制殺する間、京井の生還となりさらに辻井の大飛球は右翼手目測を誤つて頭上を抜かれ三壘打となる不手際に近藤の加點を許したものである、しかし仔細に見れば早大の幸運とばかりいへず、立教守備陣の不調も與ひ強い事實であつた、むしろ立教にとつて惜しまれたのは二、三、五回の惡投で殊に五回の如きは無死大内野の二失に四球と犠打が結合しながら西本の拙走が禍ひして得點に至らなかつた、石黑は三回の二點ですつかり氣をよくし後半は打氣にはやる立教打者を意のままに操り早大打線また好機を猛烈な當りで飾し文字通りの勝ち戰さであつた、思へば三回の二點が兩軍を明暗に彩り秋の制覇を分岐したものである

慶應大勝 東大つひに全敗

9—2

慶、東戰は零時五分慶應先攻で開始、結局九對二で慶應大勝す、球審天知（球）角田、西村、長濱（壘）

慶（先）	2	0	0	6	0	0	0	0	1	9
東	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2

戰評 慶應の勝利は豫想通りだが東大は例によつて野手の凡失から慶應に大量得點を許して慘敗を喫した、慶應は一回一死無走者から坂井の左翼二壘打でまづ二點を獲得、四回安打四壘の岩本を山村ベンドで送り矢野の中前安打で一點を加へ根津中飛後宇野の三ゴロ一壘惡投で矢野一壘から長驅生還、大舘一簡失、別當遊ゴロ失で二死なから滿壘となり、坂井の三飛は太陽安打となり野手三壘に投じたが間に合はず一人生還、捕手平山は三進せんとする大舘を刺さんとして三壘に惡投しカバーした左翼手頭上を越し後逸する間に三者生還してこの回一擧六點を獲得早くも大勝を決した、東大は八點の開きに喘ぎながらも五回樋口左翼安打して一點を報い平山投飛後、曾川、川端、杉本連續四球を得て、さらに一點を加へたが、山村に代つた高野に後續を斷たれて反擊の機を逸した、その後も得點の機なく東大は遂に今季は全敗に終る結果となつた

明治勝つ 法政五位に轉落

2A—1

明治對法政は午後二時卅五分審判十生谷、本郷、關口、西村、法政先攻で開始、結局二A對一で明治勝つ

法（先）	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
明	0	0	0	0	0	1	1	0	A	2A

戰評 藤本の快投に比して抽木の滑り出しては實に氣動であつた、一回三つの四球で二死滿壘を喫しこれを見事に押へて三回には無死原田を步かせ併殺に退けたが極めて危い橋を渡りつゝ試合を進めた、一方攻擊面の法政は三回無死にして福田左中間二壘打を打ち福田の二簡に三進抽木四球に步くや服部の遊ゴロは手頃な併殺球であつたが二壘で抽木を殺したまゝ一壘は間に合はず、福田この間に生還一點を先取、明大は抽木の無制球に殆ど每回好機をつくつて法政に重壓を加へながらも決定打を缺いてゐたが六回無死加藤四球を選び鋼子栗のバントで二進、松井が高目の直球を左翼に快打して加藤を迎へ同點とした、こゝで抽木滑滅し法政は佐藤を送り一と手づ虎口を脫したものの明治七回二死後宮本四球に出塁して投手牽制球に吊り出されたが遊撃失に乘じて三壘を突くやバックアップした服部三壘に暴投したゝめやすく生還、貴重な一點を拾ひこのまま逃げ込んだ法政の敗因は抽木の不調と守備陣の破綻にあつた、かくて前覇者法政は一勝一引分二敗の成績で敗れなくも五位に轉落した

商船武裝案可決

【ワシントン十七日同盟】米下院は十七日二百五十九票對百卅八票の大差をもつて商船武裝法案を可決、上院に廻附した

カ號雷擊事件に衝擊

ワシントン特電【十七日發】アメリカ驅逐艦カーニー……

英米港灣に直航命令

【サンフランシスコ十七日同盟】米海軍當局は若干の水域にある米國商船に對し即時最寄りの米國または英領その他友好國港灣に直航するやう命令した旨十七日發表した、しかして海軍筋では濠洲通ひの商船は右適用をうけないでよいものと解してゐる

英、言明を避く

【ロンドン十七日同盟】米海軍が若干水域の商船に對し英米その他の友好國の港へ即時直航命令を發したのにかんがみ米海軍でも英國商船隊に對しこれと同樣の命令を發するか否か注目されてゐるが英海軍當局はその態度を闡明することを避けて左の如く答へた

イギリスは交戰國であるから船舶の動きに關する聲明は一切發表しかねる

オデッサ放棄自認

【モスコー十七日同盟】ソ聯情報局は十七日ソ聯軍のオデッサ放棄を自認左の如く發表した

ソ聯軍のオデッサ撤退は秩序整然と行はれ撤退部隊は某戰線に移動した、十六日ソ聯軍はモスコー西方地區にドイツ軍の猛攻を擊退した、また各戰線においては獨軍と死鬪を續行してゐる

獨羅軍方デッサ入城 市内全く廢都

【ベルリン十七日同盟】全市を要塞化しドイツ、ルーマニヤ聯合軍の猛攻を二ケ月に亘り喰ひ止めたオデッサも十六日遂に獨、羅軍の入城するところとなつたが、市内の赤軍防禦陣地と化した多數の建物はルーマニヤ軍の攻擊によつて完全に廢墟と化した、一方ドイツ空軍は逃走するソ聯軍の退路を遮斷して道路網および列車に爆擊を加へ海上に退路を求めんとする赤軍に對して艦艇其他を擊沈、これに大損害を與へたこれに對しオデッサを海上から防衞するはずだつたソ聯黑海艦隊はすでに殆ど戰意を失つたもの如くドイツ空軍はこれを追跡、擊擊を與へてゐる

モスコーの軍事施設を猛爆

【ベルリン十七日同盟】デーヌビー通信が獨軍筋から得た情報によれば十六日夜獨空軍機攻擊編隊はモスコー市内の重要軍事施設を爆擊各所に大火災の起るのが認められた、一方獨軍重砲ならびに機甲部隊はレニングラードの軍事ならびに戰略的重要施設に對して猛砲擊をつづけてゐるといはれる

モスコー米大使館移轉

【ワシントン十七日同盟】米國務省はソ聯政府の要請にもとづき米國大使館がモスコーから東方へ移轉した旨十七日左の如く發表した

スタインハート大使以下の米大使館員は在モスコー外交團員ならびにソ聯外務省高官と同行モスコーを去り同市東方の某地に向つた、しかして外交團のモスコー撤去はソ聯政府の要請にもとづいて行はれたものである

事件の殺害に接するや非常な關心を注いでゐたアメリカ官邊筋は非常なショックを受け、既に同事件を繞る事態の進展に注意を集中するに至つた

米政府要人及び議會領袖達はカーニー號事件が從來のこの種事件中最も挑戰的であると稱するものもあり、某議員の如きは同事件をもつて直ちに戰爭を意味するものだとなしてゐるが、同事件の全貌が判明せぬ限り明確な批判行動を避くべきだと愼重を期してゐる向もある

また議員中の先鋒達は同事件は英米戰爭の直接原因となるであらうと强調してゐるのに對しナイ上院議員をはじめ孤立派達は大統領が現在の政策を固執する限りかゝる事件の誘發は當然の歸着だとなしてゐる

京城版

次代の母の聖汗

淑明女專では孝昌公園入口に至る大道路清掃に全校を擧げて、殊勝尊い汗を流してゐるが町内ではこの麗しい乙女學生部隊の出動に感謝の眼を寄せてゐる

奥床しい小國民の心掛

館前と薫る床しい菊の花を作つて興亜の兒童動中靜の奥床しい心構へを養はうと壽松國民學校では約十年前から毎年の行事として職員生徒が一丸となつて栽培に春先から夢中な努力を續けた甲斐があつて今日この頃の秋日和に安らかな夢から醒めた菊花は燦として空高く馬肥ゆる秋空に香りを放つてゐる、この菊は色とりどりの美しい模樣で校内の各所に配置して僕等の腕を見て下さいと學窓の外へ清い笑ひを投げてゐる【寫眞＝丹誠の菊】

先づ街の清掃へ 遊閑人を動員

防犯の二鳥案 皆勞へ警民一體の佳話

麗しい銃後の建設に邁進するこの聖なる姿を見よ――靑葉町第二町會では國民皆勞の趣意に則り去る十六日から各區班長を總動員管内遊閑人の調査を施行、非國策的これら遊閑人の絶無を期したが先づ解決策の第一着手として町内の道路及び下水溝の修覆清掃作業に動員一方不良徒輩の撲滅を圖つて龍山警察署と連絡、町内の淨化を期すことになつた、具體策としては警察署と町が協力就職を斡旋、銃後生産線の第一線に送り出し生産人員の擴充を圖り、併せて遊閑人によつて作られた惡の温床を打破、町の明朗化を企圖したのである町の清掃と人間の清掃を目指し銃後に鐵壁を築く警民一體の「皆勞運動」の具體化は早くも各方面より異常な關心を集めてゐる、十八日これにつき總代成松繁氏は語る

勤勞報國隊とは別個に町内を擧げて勤勞奉仕の精神に起ち上つた遊人として具體化したわけですが、目的とするところは非國策的徒輩の撲滅にあるわけで警察に協力併せて防犯の實績をあげると共に明朗〃我が町〃の建設に乘り出したわけです

天理教會で國語講習會 皇民化への第一歩とし

て市内各所で行はれてゐる國語講習會は社稷町一一八天理教朝鮮女部でも……同教士菊村県淑女史は國語の絶對必要を感じて教内行事の禮拜儀式までも國語で行ふやう、自から先生となつて約一ケ月前からの國語不解者十餘名を毎晩七時に集め、一時間に亘る熱心な指導の甲斐があつて最近では片言まじりで話せるといふ驚ばしい成績を擧げてゐる

曉闇の日參二ケ年 神前に額づく小國民の誠

永登浦進興學校では岩田和成先生が指導役となつて同校上級生に崇神敬祖の思想涵養と併せて皇軍武運長久を祈願すべく一昨年七の武運長久祈願すべく一昨年の神嘗祭日を卜し永登浦神明神祠への日參團を組織し岩田氏が先頭に朝風身を刺す嚴寒の日も泥濘泥海と化した雨の日も一日も缺かさず毎朝六時の曉闇を衝いて、神祠に參詣し國威の宣揚と出征將兵の武運長久を丹念に祈る恭々しき姿には六萬永登浦市民の驚歎の的となり絶讚されつゝあつたがその滿二ケ年に當る十七日の神嘗祭日を卜して永登浦神祠に同團員の表彰式が滯々と行はれた

防訓に再度擧る百萬府民 實戰宛らの緊迫

東大門警防團が壯烈夜間訓練

東大門警防團では十九日午後七時半から約一時間に亘つて東部出張所前に半島最初の壯烈な夜間防空訓練を行ふ、從來晝間の練兵場の訓練だけでは夜間の悽慘な場面を想像させることができない上にそれに對應する夜間防火の實際訓練も必要とされるので兼ねてから東大門警防團で計畫されてゐたものを愈よ實行することとなつたのである、同訓練に參加する人々は東大門警防團第四分團および昌信、龍頭、崇仁、新設各町選り拔きのモンペ部隊百名が合同して出場する、現場には三棟の假家屋を建て、實際訓練を行ふ等實戰さながらの猛演習が展開されるはずである

流石は官舍モンペ部隊 休日を利用して防訓に大童

さすがは人の師表となる役人だけにかしくも防訓に再訓練を行つた、に十八日の休日を國に振つて興ゆ…部西町一九三附近の道廳官舍五十軒のモンペ部隊は十八日の休日を利用して防訓に總起ちとなつたが同區長川島祐三九氏(社會課勤務)夫人しげるさんは午前十時十五分の聯國神社參拜を濟ませると共に直ちに全官舍の夫人令孃を集めて「この二日續くお休みを無爲に過ごすよりは皆さんで防火防空演習でもやりませう」と發議し一同大いに贊成、直ちに府出張所の現示係に乞うて指導を求めモンペ部隊は五班に分れて忽ち猛訓練に移つたが、中にも土木課勤務の井戸川林道氏夫人とき子さんは最後まで烈風の中に立つて號令任務に服し

お手並見事 本券青年隊の合同救護演習

全身水のやうに冷さつても尚退かずあつぱれ銃後女性の氣を吐く等訓練は午後まで續いて同四時終了した

久しぶりの休養に、身も心も、投げ出すやうな懈怠に、一日を過ごさうといふ一昨休の日、さすが京城の空を護る全府の警防團は各自の演習に觸もしい構へを見せて烈烈たる氣合に乘る足並の美しさ…その中でもとりわけ本町警防團第三分團救護班八十名と本券番青年隊五十名の合同救護演習は特にこの日の異彩を放つて關係者を感激させ益々銃後の固めに心強さを思はせた―正午本券番前に集合した本町警防團第三分團長本吉兵次郎氏以下の救護班八十名は折から待機してゐた本券番青年隊長大宮貞二郎さん以下五十名の女子青年隊員と合流して猛烈果敢な救護演習をやつた、何分にも警防團員と花柳界の女子隊員との聯合演習はこれがはじめてゞあるので關係者も充分に緊張して一言一動注意深く指導した結果豫期以上の好績を收めて同三時終了した

なほ本券青年隊は結成以來大宮隊長の創案によつて全員二百名が本格的な救護作業の訓練をつけてゐたので三味線持つ手に鮮やかな三角巾の取扱ひや繃帶巻では全く素人ばなれした妙技を演じて指導者側を感嘆させた

防空の虫にお灸

燈管の防空陣を亂す者にお灸―永登浦町四六六織布商松原光世(三〇)及び同町四三三山崎クリーニング店外交員松本陽三(二〇)兩名は十三日の燈火管制に餘りに明る過ぎるので永登浦署員が注意をしたところ「それでは五月蠅いから消さう」と横着にも親切に注意する警官の面前に消燈するので檢束し嚴重説諭の上十四日釋放した

白衣の勇士笑ふ

京城淑髮協會の慰問運動會

ワアー、ワッ…調子高い金鼓の掛聲が秋空を搖るがして―練兵場分院の運動場には花籠をぶちまけたやうな陽氣な勇士慰問運動會が始められた、白衣の勇士を勞りませう――と十七日午後一時から京城淑髮協會三百名の麗人部隊による慰問運動會開始、全員は渡邊、尹沼正副會長他幹部と共に場内に整列、白衣に身を包んだ勇士の入場に感謝をこめた拍手を送り開會、國民儀禮についで渡邊會長は「皆樣の一日も早くお元氣になられますことをお祈りします」と挨拶を述べ尹沼副會長の號令で『木劍體操』は華やかに開幕今日ばかりは黑髮握る手に木劍持ち烈帛の氣合も凄く銃後女性の雄々しさを見せ〃ホホウ……〃と勇士席を感嘆させる、『花嫁さがし』『漫畫競爭』には勇士も出場、主客一體の明朗な雰圍氣は絶えず爆笑の渦を捲きながら進る……進る、夕陽うすづく午前五時まで全く時の經過も忘れての活躍〃ほんとに有難うございましたと〃双方感謝の言葉を交はして終了した【寫眞＝勇士慰問の木劍體操】

聖汗のひと時 淑明女專勤勞

淑明女子專門學校では生徒達の精神觀念の昂揚と併せて彪拜として起つた國民皆勞運動に働く喜びと尊さを身を以て體得させるため先づその第一着手として同校一年六十二名が豐山教授に引率されて十六日午前九時から正午まで龍山加藤神祠擴張工事に勁盛り、地均し等に聖汗の勤勞奉仕をなしたが、午後からは公立孝昌國民學校生徒二百名が藤江先生に連れられて同じく同神祠に尊い汗の奉化を捧げ三時過ぎごろ引揚げた

來春から飼蠶も 愛婦の蓖麻栽培運動

瑞麟町愛婦朝鮮本部では蓖麻子を獻納しようと今春四月から四十六萬餘りの會員を動員、一坪の空閑地も利用して栽培に聖汗を流して來たが、愈々收穫期が近づき、相當の高が上げられるはずであるが本部では更に明春からこの葉を喰はせて蠶を飼ふべく今から張り切つてゐる

街の日赤功勞者

日赤京城府委員部では委員部設置五周年を記念に社員の大募集を企てゝゐるが、同社の委員である西部七區町會第二區長八木長良、同三區長古城宗烈兩氏は折柄の防訓に指導員として活躍中にも拘らず指定割當數の五人を遥か突破して三十名近くの社員を募集したので近く日赤から成績優秀なりと表彰することになつた

慰問文を贈る 京畿商業

學校では慰問文六百通に五十圓を添へて佛印方面の派遣將兵に送つて下さいと十三日同校生徒代表が本社を訪れ獻納を寄託した

鮮服組合で慰問袋贈る

光化門通二一〇京城鮮服加工小賣商組合金子常務理事ら五氏の役員は十六日午下り三台のリヤカーに山とつんだ慰問袋二百卅二箇をわつしよくくと囃へて本社に擔ぎ込み皇軍慰問品に獻納手續をとつた國する鮮服加工商たちが團結してミシンを銃に換へて銃後に勤勞報組合を結成、その記念として二百九十七名の業者が皇軍に感謝するため赤誠の慰問袋をあつめたもの

ラヂオ 十九日(日)

朝 六・四〇(東)このことば 植木直一郎 ▲七・二〇(仙)日本刀の話(…) ▲八・四〇(大)朗讀と音樂『水底の幻燈機』熊山綾子 ▲九・〇〇(東)週間を顧みて(録音) ▲一〇・〇〇(東)管絃樂『バクダットの大守』ボイエルジユー

晝 〇・〇五(録)民謠組曲『中國路』阿部幸次 ▲一・〇〇(東)『屁ケ崎の…』松本幸輔 本太…

夜 六・〇〇(東)『…音が放送されるまで』中村アナウンサー ▲六・二〇(東)和洋合奏『…』▲七・二〇(大)週間の動き ▲七・二〇(邸)秋の收穫 ▲八・〇〇(東)歌謡聯曲『日・獨・伊三國歌謡集』…下田將美 ▲八・二〇(東)戰友を憶ふ(錄音)山際喜一 ▲八・三〇(東)アコーディオン獨奏 長内端 ▲八・五〇(東)二宮尊德 一龍齋貞丈

第二 九・四〇修養講話『愛國婦年譜』朱納乾 ▲〇・〇五ハーモニカ合奏 ▲一・〇〇朝鮮音樂舞踊『驟山會相』成和鎭 ▲六・二三うたのおけいこ『野菊』金蓉貞 ▲六・四五産業ニュース ▲七・二〇野演劇『婦人部隊』▲七・五〇唱劇調『水宮歌』趙錦玉 ▲八・二〇ヴァイオリン獨奏 桂貞植 ▲八・二〇レコード ▲八・五〇連續物語『所願成就』(二)平山秋岡 ▲九・一五講演『秋窓隨想』芳村香道

十字路

◇……電車が荷車の後押しをした話―

◇……十八日午後二時清凉里發東大門行京電二〇九號電車が昌信町附近を運行中前方に薪を積んだ荷車が一台線路の中で立往生をしてゐた

◇……電車は忽ちそこに釘づけとなつて氣の短い運轉手君の怒聲がしきりにその新車に浴びせられたが動かぬものは仕方がない

◇……そこで運轉手君一智慧絞つて電車の後押しといふ妙案を編み出しはらはらしながら電車の前部をその新車の後部にぴつたりつけると思ひ切つてレバーを入れた

◇……見事に新車は線路外に押し出されたが、この運轉手君の奇智に乘客一同すつかり喜んで「電車が新車の後押しをやるなんてやつぱり若くなるのを知つてまさあ」

歌はぬ勝利 (33)

山中峯太郎【作】 高木清【畫】

日本人的裁決(一)

―馬と公子を結婚させる、何といふ思ひがけないことを……。

禮子夫人は、これこそ『超非常時』といふ緊張した感じに、またもから發はれた氣がして、今すぐには何とも實感がまとまらずに、

『わたくし、このことは二、三日どうぞ考へさせていたゞきたいと存じます』

とにかく、さう云つてみたが、すぐにつゞけて、

『けれども、馬と公子は、まるで兄と妹にして育てたのでございますから、このことを、よくお考へいたゞきませんと、二人は今でも、ほんたうの血をわけた兄妹だと思つてゐるのでございます』

しつかりと念をおして、またもキッパリと云ひきる禮子夫人の『兄妹』との中心點を、良衞は、無論豫期してゐたといふ風に、

『さうです、そのとほりにちがひはないが、しかし、結婚の問題を云ひだすのは、二年後を私は豫定してゐる。ほんたうの兄妹でなかつたのを、二人が知つてから、その後、二年のあひだには、互に氣もちが變化するものと、これは無論、私の想像にすぎないが、その點は是非、あなたに良い意味の誘導をお願ひしなければならない』

いかにも溫和な氣はひのうちに他からは何とも動かし得ない堅い鐵のやうな意志をもつて、さめたら最後まで實行しとほさずにはゐない、それが、おだやかな口調で嚴しく云ひつける夫の性格だつた。

禮子夫人は、ジーツと下唇をかみしめた。何としても、自分の意見がいれられない。かうなると、從ふよりほかには、夫の前にゐられないのが、生家にゐた娘時代から受けた躾であつた。

――『二、三日のあひだ、考へさせていたゞきたいと存じます』

今、さきに云つた一條のゆとりさへも、良衞は、許さずにゐる。明らさまに否定はしないが、微塵の協和點さへ見出させずに、それでゐて別に横暴といふ感じを與へるでもない。柔かだけれど反抗のできない勢力をもつてゐるのが、たしかにこれこそ〈夫〉として眞の意味の權威を、良衞が平生から無言のうちに修めてゐるからであらう。と禮子夫人は、今もまた、いさぎよく服從して行くことに、〈妻〉としての奉仕的な確定があるのを、あらためて自覺せずにはゐられなかつた。良衞は、禮子が下唇をかみしめながら、今さきの惱きと興奮を、押し沈めてゐるのを見ると、さらに靜かな口調で、

『話は、これだけです』

切つてすてるやうな言葉の中にしかし、この妻への信頼が、充分こもつてゐた。

――あなたは無論、私のいふことをきいてくれる。それを私はかぎりなく感謝してゐるのだ。

禮子夫人も、この夫の不斷の氣もちを、奧底まで理解してゐるからこそ、心から服從して行けるのだつた。心しづかに起ちあがつた禮子夫人に、良衞は、やはり靜かに云ひ添へた。

『私が歸つて來たことを、社の方へ知らせておいて下さい』

『はい……』

書齋から廊下へ出た禮子夫人は、電話の前へ行きながら、うなだれてゐた。

――公子に『義理』を打ちあけることの心苦しさ、つらさ……。

十六年前であつた。(父)になつた人に抱かれて、實の母の手もとから引きとられてきた三つの公子、その時に馬はもう、八つになつてゐた。學校から歸つてきて、

―『あなたの妹なのよ。この子、今まで知らなかつたでせう。かつてもらつてたの、公子といふのよ、可愛いでせう』

さういつて聞かせた時、馬は目をまるくして、

―『フウン』と、いつたきりだつたが、今でもまだ、そのときのことを、おぼえてゐないかしら。

夕刊
京城日報
靖國神社大祭

天皇陛下 靖國神社行幸

神社に行幸あらせられ護國の英

【東京電話】天皇陛下には靖國神社臨時大祭第三日の十八日畏くも同

靈に御親拜あらせられた、皇國の柱石となつた英靈に榮光愈々燦として輝くこの日、新祭神の遺族三萬餘は咫尺の間に至尊の御姿を拜して恐懼感激に咽び泣き奉公の誠をいよ〱固くした、菊花薫り秋深みゆく靖國の社頭は此日小雨降る中を光榮の遺族は早朝から續々と參拜して廣濶の

御道筋兩側に蹲坐して神域を埋める、午前九時陸海軍兩省係官鈴木宮司など奉仕のもとに祭典はじめられ、同九時二十分東條陸相、及川海相、西尾大祭委員長以下陸海軍部隊代表が參着午前十時高松宮、三笠宮兩殿下をはじめ奉り、各皇族殿下には菊花御紋章輝く幸地の御車が滑

り込まされた本殿前の御席に御參着遊ばされ、各閣僚文武顯官らいづれも威儀を正して拜殿前所定の位置につき

陛下の

着御を御待ち申上げる、かくて廣濶參拜の緊張が刻一刻高まつてゆくうちに　天皇陛下には陸軍御軍裝に大勳位副章各種勳章を御佩用百武侍從長陪乘 松平

宮相、蓮沼侍從武官長以下側近供奉の略式自動車鹵簿にて午前十時宮城御出門、御順路を靖國神社に行幸あらせられ、遺族の奉拜に一々御會釋を賜ひつゝ軍樂隊の「君が代」吹奏裡に拜殿前に着御、西尾大祭委員長の御先導にて殿所に進ませられ御手水、御修祓ののちさらに鈴木宮司御先導申上げ本殿內の御拜座につかせられた

やがて

陛下には鈴木宮司の奉る玉串を御手にし給ひ護國の英靈に御拜あらせられた、この時十時十五分全國一億國民の敬虔な默禱は遙に靖國の社頭に向つて捧げられ參列遺族は頭を垂れて感激に打ちふるへた、御親拜を終へさせられた　陛下には拜殿前より再び廣濶を御へさせられて遺

族に御會釋を賜ひつゝ諸員の奉送裡に同神社を御發御、天機麗しく宮城に還幸遊ばされた、各皇族殿下には

陛下還幸

ののちそれ〲御拜あらせられ終つて遺族の昇殿參拜があつてこゝに大祭第三日の儀は滞りなく終了した

畏し、玉串を御手に 護國の英靈に御拜

奉拜の遺族感涙に咽ぶ（臨時大祭第三日）

天皇陛下靖國神社に御親拜 けさ拜殿前にて謹寫＝電送

神嘗祭宮中の御儀

【東京電話】十七日神嘗祭の佳き日宮中では　天皇陛下御親祭のもとに嚴かなる御儀を行はせられた、この朝高松宮殿下をはじめ奉り各皇族御參列文武高官など着床恐懼裡に掌典次長以下奉仕し御祭典が行はれ　天皇陛下には黃櫨染御袍の御束帶も神々しく、午前十時神嘉殿南庭の御座に出御親しく神宮を御遙拜遊ばされ、ついで賢所內陣の御座に御參進御親拜御告文を奏せられ入御あらせられた、この朝御參內あらせられた　皇太后陛下にも御儀服神々しく御拜座に御參進御直拜あらせられ御參列の皇族方諸員の拜禮あつて御儀を終へさせられた、なほこの日神宮には宮内掌典を勅使として參向奉幣せしめられた

社説　陛下御親拜

靖國神社臨時大祭は十五日夜の招魂の儀に引續き、六日間に亘つて執り行はれる。新に合祀せらるゝ護國の英靈一萬五千十三柱、今ぞ晴國の神として仰がれるのである。畏くも大元帥陛下には大祭第三日たる十八日御親拜あらせられ、親しく忠靈を慰め給ふ。寔に聖慮の無邊なる、大君の御爲となつて異域に華と散つた勇士の英魂もさだめし泉下に感泣してゐることゝ思はれる。折しも新祭神の遺族として全國より召されたる三萬餘の同胞の榮譽はいふに及ばず、一億國民の齊しく恐懼感激するところである。されば　聖上陛下御親拜の時刻、我等心からなる一分間の默禱を靖國の英靈に捧げたのであつた。

申すも畏きことながら　聖上陛下には事變勃發以來、夙夜御軫念、政務に御精勵遊ばされ、特に現地將兵の上に聖慮を賜ひ、また戰歿將兵、傷痍軍人並にこれらの遺族の上にも大御心を注がせ給ふなど、まことに畏き極みである。

今や聖戰五年、御稜威の下皇軍は支那大陸に遠征轉戰、赫々たる戰果の下に大東亞共榮圏確立の愈々近づきつゝあるは、みなこれ忠勇無双の將兵の勇戰によるもので、我が國民のひとしく感謝措く能はざるところであるが事變の解決はなほ容易に樂觀を許さぬものがあるのみならず、複雜多岐なる國際政局はますく我が國步を艱みつゝある。されば我等は靖國神社臨時大祭に當り、この廣大無邊なる大御心を體し、英靈の聖靈を慰めると共に、未曾有の國難に對處して、事變完遂のため擧國一致、自彊自戒、勇士の遺志を繼いで一意邁進することこそ、九段の神靈を慰める一億國民の責務であることを思ふと同時に、更めてその決意を新にするものである。

東條新內閣成立

海相に嶋田大將 藏相は賀屋興宣氏

外相に東郷元駐ソ大使

けふ午後三時 親任式を御擧行

【東京電話】東條陸相は十七日午後四時三十五分後繼內閣組織の大命を拜するや急速に組閣工作を進め同夜深更までに大體組閣の目鼻をつけ十八日は午前九時十分前企畫院總裁星野直樹氏、同廿分元外務次官谷正之氏が組閣本部に入り、東條陸相は同十時四十分本部入りして早くも第二日目の工作に着手した、かくて新內閣の組織工作は電擊的に進捗し同日午前中をもつて之を完了　天皇陛下の靖國神社御親拜御終了をまつて午後二時參內、閣員名簿を捧呈、宮中の御都合を伺つて臨戰內閣たる東條新內閣の親任式は同日午後三時執り行はせられた、組閣本部發表左の如し

總理大臣	陸軍中將	東條英機
外務大臣	元駐ソ大使	東郷茂德
內務大臣	（兼任）	東條英機
大藏大臣	北支開發會社總裁	賀屋興宣
陸軍大臣	（兼任）	東條英機
海軍大臣	橫鎭長官	嶋田繁太郎
商工大臣	前商工次官	岸信介
遞信大臣	浦賀ドック社長海軍中將	寺島健
鐵道大臣	（兼任）	寺島健
拓務大臣	（兼任）	東郷茂德
司法大臣	（留任）	岩村通世
文部大臣	（留任）	橋田邦彦
農林大臣	（留任）	井野碩哉
厚生大臣	（留任）	小泉親彦
國務大臣	兼企畫院總裁（留任）	鈴木貞一
書記官長	前企畫院總裁	星野直樹
法制局長官	法制局部長	森山鋭一
情報局總裁	元外務次官	谷正之

新閣僚（上）東條首相、嶋田海相、寺島遞相、橋田文相、小泉厚相、左上から東郷外相、賀屋藏相、岸商相、岩村法相、井野農相、鈴木國務相、下段右から星野書記官長、森山法制局長官、谷情報局總裁

內務三役辭表

【東京電話】宮埜內務次官、山崎警視總監、橋本警保局長の內務三役は十七日朝辭表を田邊內相の手許に正式提出した、よつて後繼內閣の決定を待つて右の後任補充に伴ひ重要府縣の地方長官の異動が行はれる旨である

柳川副總裁ら 辭表提出

【東京電話】近衞內閣總辭職に伴ひ柳川大政翼贊會副總裁および石渡事務總長は十六日それ〲近衞總裁の手許まで正式に辭表を提出したが、その他首腦部の進退については、たとひ政府と表裏一體關係にありとはいへ國民組織の中核體たる翼贊會の役職員が政變毎に進退することは將來に惡例を殘すとなるので一應辭表提出を見合すことになつた、從つて後藤中央協力會議長、熊谷總務、狹間組織、永井東亞各局長ならびに各總務は新內閣の成立を待ち改めてその去就を考慮することになつてゐる

臨戰新體制の確立

諸施策を急速に實行

【東京電話】臨戰的性格を飛躍的に明確化した東條新內閣は組閣の大命降下後僅々十五時間で組閣工作を完了した、國策遂行の方途に關し、遂に意見の一致を見ずして總辭職した第三次近衞內閣の後をうけて出現した東條內閣に課せられた使命と任務は極めて重大なるものがある、すなはち新內閣の使命は複雜微妙なる國際情勢と急進展する歐洲大戰の眞ん中にあつてわが不動の國策たる支那事變の完遂を期し東亞共榮圏の確立に向つて一路邁進すべくその任務は國策遂行の方途を明確化するとともに政戰一體の實を具現して戰時政治を強行するためにあり、具體的には大本營政府連絡會議を積極的に活用し政治、經濟、文化などあらゆる部門における臨戰新體制確立に要する諸施策を急速に斷行、なかんづく

一、確立さるべき戰時經濟新體制に即應する行政機構の全面的改革
二、戰時食糧對策の實施
三、統制會の急速設置による日本產業經濟の再編成の實行
四、戰時下國民生活の安定と治安確保

などにあることはもちろんで東條新首相は國策遂行の新たなる方途を確立し陸海軍との緊密なる連絡のもとに戰時內外國策を強力に遂行するものと期待される

さらに密接不可分 國府、新內閣に期待

【南京十八日同盟】今次の政變は國民政府方面に多少意外の感を與へた模樣であるが、一般に東條內閣の出現をもつて帝國の對華政策が聊かも變更なく却つて國際危局を打開し日華兩國の結合關係が一層緊密強化されるだらうと見てゐる

すなはち近衞內閣の一員として國民政府強化の政策を全面的に支持し來つた東條陸相が後繼內閣首班として強力內閣を組織する以上帝國既定の對華方針が不動たるべきは疑ひを容れず、日本は當初の理想たる東亞新秩序の建設に向つて邁進するものと見、新內閣に絕對の期待と信賴をかけてゐるのみならず、これによつて友邦日本との協力關係はさらに密接不可分となるに至らうと見て今後のわが外交政策の積極的展開を注視してゐる

力強し、東條內閣 滿洲國あげて歡迎

【新京十八日同盟】後繼內閣の首班として東條英機中將に大命降下したのに對して滿洲國朝野は多大の好感と歡迎の意を表し大きな期待をかけてゐる、すなはち、現下の國際情勢はいよ〱緊迫を加へ特に盟邦日本が支那事變完遂および大東亞共榮圏の建設に邁進しつゝある際、東條英機中將に大命降下したことは洵に現下日本の斷乎たる決意を示すものとして最も相應しいものといふべく、ことに東條中將は多年關東軍にあつて治外法權の撤廢、滿洲產業五ケ年計畫の樹立その他滿洲國の育成發展に全力を擧げて協力指導せるのみならず、乾岔子島事件をはじめ滿ソ國境事件の解決にあたり多大の貢獻を殘し、また支那事變勃發するや關東軍の精鋭を率いて內蒙に進軍し赤色ルートの遮斷に成功して日本軍の山西作戰を有利に展開しチャハルの支那軍を殲滅して德王を首班とする蒙古政府を樹立し防共回廊の建設を、なし一方日滿共同防衞陣の強化を圖るなど幾多不滅の功績を殘し、その果敢にして毅然たる實行力は滿洲朝野の深く信賴し來つたところであるがゆゑに盟邦の非常時局を擔當する東條陸相への期待は大きく速かに明朗強力內閣の出現を希求し、盟邦日本の確固不動の國是たる大東亞共榮圏の建設に邁進を期待するものであるが、滿洲國としては日滿一體不可分の根本原則により滿洲國の總力を結集して盟邦に協力する決意を新にしてゐる

張國務總理談

【新京十七日同盟】複雜多岐な國際情勢下にあつて日本今次の政變は世界各國に深甚なる關心を呼び特に日本と一體關係にある滿洲國としては日本政局の速かなる安定を希望しつゝ東亞新秩序建設に邁進する強力內閣の出現を期待してゐたが、後繼內閣の首班として東條陸相に大命降下の報に接し知遇關係にある滿洲國國務總理張景惠氏は次のやうに語つた

東亞共榮圏確立の急務が叫ばれてゐる秋、盟邦日本の後繼內閣首班として東條陸相に大命降下したことは滿洲國の特に歡迎するところである、刻下の國際情勢はいよ〱緊迫を告げつつあり、滿洲國は日本と一體不可分關係をいよ〱鞏固にし時局を突破せんと決意してゐるが、この度の日本政變に當り東條中將の如き剛毅明敏の士に大命降下を見たことは非常な力強さを覺ゆる次第で東條中將が速かに組閣を完了せられて東亞新秩序建設に邁進せられんことを衷心より希望する次第である

獨批評を避く

【ベルリン十七日同盟】獨外務當局は日本政變については愼重なる態度を持してをり十七日の記者會見では一切批評を加へず次の如く言明した

ドイツは盟邦日本の內政問題についてはまだそれが解決もしてゐないうちに云々することは出來ない

伊多大の關心

【ローマ十七日同盟】イタリー當局筋は日本の政變につき次の如く語つた

他國の內政に干渉しないのはイタリーの傳統的方針であり、特にそれが日本のごとき友好關係にある他國の場合においては一層さうであるからこれについて批評を下すのはまだ早いだらう、日本の政變につき英、米では困惑と焦燥を示してゐるが、イタリーは多大の關心をもつて注視するのみである

東條陸相に大命が降下したことは日本の政治的危機解消を示すものとして大いに歡迎するところだ

なほ消息筋では近衞內閣が退いて東條陸相がこれに代つたことは日本の樞軸政策が三國同盟締結當時の精神に沿つて不變のものであることを再び證明したものとして歡迎してゐる

時の錄音

畏くも　聖上陛下靖國神社に御親拜あらせらる。一億民草ただ恐懼感激あるのみ。
×
九段の神靈を慰め、その遺志を新にするこそ一億の務である
×
近衞第三次內閣總辭職、東條新內閣成立す。
×
あわただしき政變ではあるが國民は狼狽してはならぬ
×
內閣は變更あるとも不動の國策は微動だもしない
×
雨降つて地固まる。
×
防諜第七日、內外の情勢いよ〱急なるが、一刻も忘れてはなるまい

號外發行

十八日午後『東條內閣の組閣決定』の號外を發行速報いたしました

興亞同盟聲明書發表

【東京電話】大日本興亞同盟では十八日午前八時より翼贊會本部に林總務委員長以下幹部集合し東條內閣の成立を契機とする國策遂行推進につき協議を遂げた結果「日本國民に告ぐ」との聲明を發表して國民の奮起を要望した

總督府辭令（十五日附）

本府遞信技師小林春一郎兼任本府技師（三等）命殖產局勤務、命財務局、學務局兼務▲（龍中）公立中學校教諭秋田佐平（同）同河田信雄任朝鮮公立中學校教諭（各通）▲（京城第一）公立高等女學校教諭增村勇任公立高等女學校教諭（七等）補京城第一公立高等女學校教諭▲（北青農業）公立實業學校教諭木津哲任公立實業學校教諭（七等）補北靑公立農業學校教諭

文化

北京追懐

大久保 哲

田中咄哉州氏畫

北京の十月は實に素晴しい時候であり遊子をして沁々とこの千年の古都の落附いた雅趣さと閑寂さを味はせるものがある。六、七、八と釜中に焙られるやうな暑さが過ぎると、九月から十月初旬にかけて猛烈な風が吹き荒れる日が多い。市中は黄塵が渦巻く。遠く朔北の沙漠から風に運ばれて黄砂が舞ひ下りる。天地はために暗く、視界は全くオークル・ジョーンの一色に塗り潰される。辭書に霾といふ字がある。土降ると訓ずるが正にそれである。どんな密閉した部屋でも、家具什器にうつすら土埃の薄膜が覆ふ。行人は風に抗つて前かゞみに歩く。毎日灰一色の陰鬱な空には窓外の荒涼たる曠野を吹き荒れて遠く京兆の大平野に流れこむ疾風の咆哮が續く。

然し、この風も十月に入ると何時とはなしに熄んで、乾燥の青磁にも似た美しい碧空が現れるのだ。六百萬本はあらうといはれる森の都北京の街々の槐、楊柳、楡、合歡等の巨木は秋のパレードに敏感にその葉は紅葉し出しはらはらと散り始める。露はな梢を麗い秋の陽ざしに晒さうとする。

洞徹な秋が北京に訪れるのだ。紺碧の空は毎日々々その透澄さを加へて行く。一片の雲も見られない日が續く。街頭の果物屋の屋台には季節の果物が溢れるのだ。その中でも私は毒々しい程鮮かなペルミヨン・シノアの大きな柿の色彩を忘れられない。慌しいセーゾンの跫音は朝夕の寒暖計にグンと感じられて肌寒くなる。街を行く小姐もつい先頃まで二の腕も露はな旗袍で王府井大街を歩いてゐた颯爽とした姿は見られない。そして一様に袷になる。その上に藍布大掛兒を纏ふ。モガや女學生はその上に粗く編んだ手編のチレを颯快に肩に纏ひつける。私は北京の小姐達のこの服裝をこの上なく瀟洒に感じる。この藍色の簡素な大掛兒姿は綺麗ならず、艶麗ならず、重厚ならず、輕佻ならず、コスチュームの線の柔かさと美しさと一そして服飾の第一義かもしれないセクシュアル・アッピールも多分に發散するストリーム・ラインは比類ないものと思つてゐる日暮れ近くなると、恰も黄河沖

積層の何千米と深い北京の地下の砂層から涌いて立上るやうな濛靄とした轟音が立籠める。街角のとこかしこから盛の大鍋で甘栗を炒る甘美な匂が漂つて來る。無性に人々はこの夢のやうな靄の中を、しつとり潤つた爽涼の夜氣に包まれて、少々の肌寒さに却つて快感を覺へて歩きたがる。空は深沈として暗い紺青色に擴がり、キラキラと星屑は滿天に鏤められてゐる

私はかういふ秋夜、景山東街の奥まつた胡同から彷徨ひ出して、あてもなく、王府井、東華門の邊り、或ひは北池子から南池子にかけて、時には枝をからみ合はして頭上に並ひかぶさる槐の並木の黒々とした東河沿の河岸を歩いたものだつた。王府井に浮然と出た時なそは東安市場の奥まつた一隅の吉祥戲院に這入りこむ。そして花旦、青花なその哀切な吟唱に聊き忘れたものであつた。支那劇は騷ともいはれ、ドラマといふよりオペーで、ドラマの範疇では到底律せられないものがある。極端に云へばテーマもプロットもサスペンスもない。又一面演出上に色彩、象徴的な規約があつたりして吾々邦人にはさうした感を抱かせないものがあるが、伶人達の聲樂で唸るやうなアルセットの洗練巧緻を極めたアリアの吟唱はこの上なく神々たる感銘を誘ふものがあつて私を呆然一、二時間は、劇場内に躊躇しながらお茶を飲んだり瓜子兒をパリパリ噛んだり落花生を抓んだりして喚んでゐる觀客のザワザワ喧騷に近い人いきれの裡に過ごしてくれたものであつた。

やゝ疲れると私は外に出て王府井を歩く。時には三條胡同を通り抜けて東單牌樓に出る。然し私には東單牌樓から東西牌樓にかけての邦人カフエー街、花柳街の殷賑さは何か眩はしい風景であつた。東城の胡同といふ胡同には俗惡なネオンが瞬き、甲高い嬌聲が流れ泥醉した邦人が彷徨し、深更まで不夜城の狂燥を展開してゐたが、私には星斗闌干たる天上の匪寂な星座の下、漆黒の闇に眠る北京の靜寂に相應しくない亂脈な狂躁ぶりとしか思へなかつたのであつた

明滅燈　黒紋附の威儀

映畫と名のつくもので、兎も角もわれわれを泣かせるのは、九段の社、招魂祭の模樣を撮したニュース映畫のあの遺族達の顔である。と同時に微笑ましく感ずるのは、席に連なる人すべてが黒紋附に威儀を正してゐる日本人的な身嗜みの整然さである。ひよつとしたら生れて六七十年始めて身につけたかも知れないと思はれる鄙びた老母達の袷紋附姿をみる度に、私はこの國の、人の心に通ふ限りない嚴肅さと麗はしさをすくひとらずにはゐられない（京城中央放送局佐々木禮三）

前の二品を和へます、標準は五人分で一箇位とします

菊の胡麻酢和へ

黄菊の花瓣をむしり、水洗ひして熱湯に入れざつと茹で、冷水で軽く洗つてしぼり、煮出汁を割つた酢につけておきます、別に白胡麻を香ばしく炒りつけてよく擂り、酢と砂糖、鹽で好みに味を調へこれで前の菊を和へます、手近にありましたら、松茸か初茸の直火燒きを適當に切つて添へますと一層風味よく季節らしい御馳走になります

さんまなます

秋刀魚に薄く鹽をふつておき、頭、腸、尾等をとり、骨つきのまゝ斜に薄くそき切りとしておきます

別に大根三に人參一の割合でせん切りとし一寸鹽をふつて暫くおき、もみ洗ひして水氣をきります、これとさんまをとり合せ、二杯酢で頂きます

不連續線　混紡率

今でこそ國民服は日常服になつてゐるが、あれが生れた最初の頃から着てゐる人にして見れば、もうそろそろ新しいのを作らねばならぬ時分であらう。

しかし、あの頃でこそ、純毛の生地も得られたけれど、今となつては望みがない。一割混紡、二割、三割、四割混紡なども求められず、三割、四割がよい方で、五割から六割といふのが普通である。

「俺のは三割混紡だぜ」

と威張つてゐる男に

「今時、そんなのがあるものか」

といつたら

「純毛が三割で、スフが七割さ」

と、平氣で答へた。

かうなつて來ると、さて六割混紡といふのは、純毛が六割なのかスフが六割なのか、ちよつと聞いただけではわからない錯覺に見舞はれる。

H美粧院の勤勞

國民皆勞週間に休日でも遊んでゐては申譯ないと京城エッチ美粧院從業員一同は去る十七日の休日を利用して黄金町軍事援護會授産場の人達と總勢四十名、卅部隊を訪れ午前九時から午後六時まで食器袋を一千枚縫ひ上げ勤勞感謝をした

芳村伊四郎氏　講習會に來城

長唄の家元九世芳村伊四郎、杵屋佐次郎の兩師匠は十六日からの本致番の講習會のために來城したが、講習會は廿二日まで一週間旭町の旭講堂で開かれてゐる【寫眞＝前列中央が伊四郎師、左が佐次郎師】

〝更生加工〟して何でも使はう　丁子屋の展覽會

戰時生活の刷新は先づ物資愛護から行きませうと、從來捨てゝかへりみられなかつた古物や廢品等生活必需品一切をこの際更生加工して、再び役立てる更生加工宣傳展といふのが京城丁子屋四階の催場で國民總力朝鮮聯盟後援のもとに來る廿一日まで開催されてゐますが、會場には中央に更生加工した見本を展示しそれを繞つて呉服、洋服、家具、袋物、電氣器具等から台所品に至るまで、修理相談に應ずる出店まで竝べて時節柄これは重寶とばかり盛況を極めてゐます【寫眞＝同展覽會場】

職場に生れる「厚生文化の意氣」　その練習場を覗く（上）

來る廿二日夜 國民總力朝鮮聯盟の主催で府民館に催される『厚生文化の夕』は働く職場が音樂、舞踊、體操を通して健全な銃後職場の心意氣を示す厚生運動として、半島最初の試みであり一般の注目を集めてゐるが、開催に先立つて二、三目ぼしい所を訪ねてみると先づ體操には大日本産業體操二部體操部、ラヂオ體操遞信局保險課員、産業體操專賣製作所、青年體操朝鮮鐵道、水力發電會社等が出演する、三越百貨店體操の練習場では〝日本よい國東の空に〟と歌快なリズムに乘つて手さばきが大きく澄んだ秋空を截る三越女店員の〝産業體操〟産業日本の持を積んで〟と唄に合して踏み出すつまさきにも力強い職域乙女の行進がある【寫眞＝三越屋上で練習中の少女たち】

漬物讀本　盛方の注意

料理と同じで盛方が大切です、一人前附なら小皿でいゝですが、盛合せの器はどちらかといへば大き過ぎるくらいがよろしいです、小さい器に山盛りに盛つたより大きい鉢に輕く覗くやうに盛つた方が美味しく見えるものです、種類も一種だけでなく例へば黄色い澤庵に綠色の胡瓜、白白菜といつたやうに二種なり三種なりを色彩よく盛合せると、一そう食慾をそゝられます、（總友會朝鮮支部新本三吾）

調理台　こんやくの更紗和へ

こんにやくをせん切りとし鹽もみし、水洗ひしてから空炒りして水分をとつておき、油揚は兩面をさつと燒いてからせん切りにしておきます

榧十の種をとつて擂り紫蘇を細かに切つたものと砂糖を少々加へよくかき混ぜておきます、これで

家庭メモ

遠足には上着を

秋は遠足の好季節で、野や山に出かけることも多いでせうが戀り易いのは秋空です、日中は暖かでも歸りがけにはひやりとしてきます、この爽さを疲れた後に感じますと風邪を引くもとになります、チョッキとかセーター、上着類をかならず持つて出かけませう 外出の時は御物になつても、子供達の遠足の時にも忘れてならぬことです。

日本茶と生活講演會

一、期日　十月廿三日(木)午後一時半
一、會場　京城府民館大講堂
一、講師　醫學博士　諸岡　存氏
一、映畫　文化映畫〝日本の茶〟

入場無料來聽歡迎

主催　靜岡縣茶業組合聯合會議所
後援　京城日報社

次週番組

城南映畫劇場（廿二日から廿六日まで）▲新興東京作品田中重雄監督、逢初夢子、宇佐美淳、加賀邦男主演『大都會』▲新興京都作品、吉田信三監督、鈴木澄子、市川男女之助、主演『羅生門』

東寶中央劇場（廿二日から廿六日まで）▲佛蘭西作品、アナトール・リトバクク監督、アナベラ、ジャン・P・オーモン主演『最後の戰鬪機』▲東寶作品、岡譲二、花井蘭子主演、廣澤虎造口演『蹴ふ男』

大陸劇場（廿五日から廿九日まで）▲松竹大船作品碧蹤合、謳監督、田中絹代、上原謙、桑野通子主演『花』

京日俳壇　秋季雜詠　高濱虛子選

汚れつつ鷄頭は盛り過ぐ　京城　永田一規
二三人二三人づつ秋の園　東京　男夫
白露のはふり落ちんとかゞやける　船橋　松岡伊佐緒
ぬれてゐる床几ばかりや秋の雨　京城　黒松松香子
花園車の芒なびける天氣かな　新義州　品川樹美稿
アリナレの水逆上る君を知る　昌寧　曹雲門
留石鍊の如く打ち古りし　群山　秋鳳洞
垣木戸に絹く山梔草の花

秋季雜詠　十月廿日締切▲官製ハガキに一人一枚、句數限五枚以内のこと▲京城日報社學藝部『京日俳壇』あて

夢は覺めるもの

總力聯盟募集一等入選通俗小説

【二】　加藤　弘

「しようがない、早速やつて貰はう」

店長は勝者が監察を受けるやうな恰好で私の方へ視線をすてた。

「そりや、どうかといつてもしようがありません。四五日かゝりますね」

「うん、かゝるやうな。メリヤス類からやつたら織物全部やからな」

「さうですよ、靴下から手袋、毛シャツ位なら種類が少いですが、靴下には困つたもんですな、秋の選つたのを全部出さないと見本になりませんしね」

「そこはいゝやうにしたらえゝやないか。聯絡さへ貰へば何とかなるよ」

そのなんとかなる、といふ言葉が私は一番耽である。やらう、たらう、といふ言葉は小さい時から嚴格な父に幾度となく叱られ、その度に癖へ燃えこしらへたゝめに今でも戰慄するほどになつてしまつた。

それとは反對に、親の代から商人であるだけに若くともよい事をいふなあと感心するその下から、若い癖に商人根性を持つてるな、と非難する感情が物凄い勢ひで押し上げて來た。やはりこれが眞實の性格であるだけに私の心は正確にやる、何日かゝつてもやると自問自答した。

長吉に靴下、松吉に手袋、東吉にシャツ、と手分けをしてそれぞれの品から價格別、聯別に一點づつ見本を出させた。私はセーター、シミーズ、パンツと細かい品目を選り拔いた。店の奥の部屋に一ぱいになつて四人が働いた。だが、まだこれから見物を出さねばならない。私が

「これから倉庫へ行つて見物だ」

と元氣づけようと、わざと元氣らしい聲でいつたのだが、三人は悲觀したらしく坐り込んでしまつた疲れたのだ。吐息をついた。

私も疲れたし、仕方なく明日にしやうと一先づ部屋の品物を揃へて隅の方に片付けた。

「もうすんだんかい」

銀行へ行つて來たらしく鞄を提げて歸つた店長が長吉と松吉の方へ聲をかけた。二人は機械的に立上つて

「いゝえ、まだこれからですよ」

松吉が大人の様な顔をした。

「これから見物ですが、もう明日にしようと思つてるんです」

私はいつものやうに輕く笑ひながら仲へ聯込んだ、坊ちやん店長は小店員達には些細な事でも叱りとばすので、私がこんな事にでも氣を配はなかつたら、親の傍を離れて間もない無邪な少年は、十日と經たないうちに歸つてしまふし若し辛抱しても習慣的に要領のよい、所謂陰日向が出來てしまふのである。

「さうか、どれぐらゐあつた」

見本が少かつたら、私達の働きぶりも分ると思つたのか、部屋の中へ首を突込んだ。壁に沿つて積み重ねた數は豫想以上だつたのかそれとも何かで擔込める考へだつたのか。

「えらい餘計出したんやな。田代君、あれは見本やから全部倉庫へ持つて行くんやぞ。汚れる事も考へてくれんと困るな」

「えゝ、一點づつ出せばあれだけあるんですよ」

「何も全部出さんでもえゝ加減にしてくれたらどうや、汚れたら半額にしても賣れへんのや、少しは店の損得も考へてんか」

三國志 【634】

(赤壁の卷) 吉川英治(作) 矢野橋村(畫)

寶劍（三）

阿斗を甲の下に抱いて、趙雲が馬に鞭すると、曹の兵、附近の諸將などは、無數の兵馬が再び群がつて、

「この中に、鐵刀の大將らしいのがゐる」

と、曹洪の注目をひしくと取りまいてゐた。

——が、趙雲は、殆ど、それを無視してゐるやうに、馬の尻に一鞭加へ、墻の破れ目から外へ突出した。

曹洪の麾下で晏明といふ部將がこれへ來た先鋒であつた。晏明はよく三尖兩刃の怪劍を使ふといはれてゐる。今や趙雲のすがたを目前に見るやいな、それを揮つて、

「待てつ」

と、挑みかゝつたが、

「おれを遮るものはすべて生命を失ふぞ」

と、趙雲の大叱咤に、思はず氣をすくんだらしく、あつとたじろぐ刹那、鎗は一閃に晏明を突き殺して、飛龍のごとく驅け去つてゐた。

しかし行く先々、彼のすがたは煙の如く起つては散る兵團に圍まれた。馬蹄のあとには、無數の死骸が捨てられ、悍馬絶叫、血は河をなした。

時に、一人の敵將が、背に張郃と書いた旗を差し、敢然、彼の道を塞いで、長い鎗の兩端に、二箇の鐵球をつけた奇異な武器を携へて吠えかゝつて來た。それは驚くべき腕力と練磨の技をもつて、二つの鐵丸を交々抛げつけ、まづ相手の獲物を絡め取らうとする戰法だつた。

「しまつた」

と、さしもの趙雲も、この怪武器には、鎗を奪られ、更に應接の遑もないばかり唸り飛んで來る二箇の鐵丸に、たじくと後ずさつた。

(——今は強敵と戰つて、功を誇つてゐる場合ではない。若君のお身をつゝがなく主君へお渡し奉ることこそ大事中の大事)

さう氣づいたので趙雲は、急に馬を回して、張郃の猛撃を避けながら馳け出した。

と、見て、張郃は、

「口ほどもない奴、それでも、音に聞ゆる趙子龍か。汝せつ」

と、悪罵を浴びせながら迫よ烈しく迫つて來た。

趙雲の奮戰がつきたか、彼にあるは阿斗の運命か。——呀ツと、趙雲の鞍が、突然穴につゝまれたと思ふと、彼の體は、諸共、野の窪坑に落ち轉んでゐた。

「得たり矢」

と、張郃はすぐ馬上から前屈みに、一鎗の鐵丸を抛りこんだ。ところが、鐵丸は趙雲の肩を外れて坑口の土壁にぶすツと埋まつた。

瞬間の次に、張郃の口から出た聲は、ひどく狼狽した叫びだつた。粘土質な土壁に深く入つてしまつた鐵丸は、いかに彼の腕力をもつて鎖を引つ張つても、容易に拔けないからであつた。

その隙に、趙雲は躍り立つて、

「天この若君を捨てたまはず。われに青釭の劍を借す！」

と、獣暴の聲をあげながら、背に負ふ長劍を引拔くやいな、張郃の肩先から馬鞍まで、一刀に斬り下げて、凄じい血をかぶつた。

後に、語り草として、世の人は

みながら言つた。

(——その折、坑のうちから紅の光が發し、張郃の眼が晦んだ刹那に、趙雲は彼を仆した。これみな趙雲のふところに幼主阿斗の抱かれてゐた爲である。やがて後に蜀の天子となるべき洪福と天性の瑞兆であつたことは、趙雲の翔ける馬の脚もとから紫の霧が流れたといふことを見てわかる)

然し、事實は、紫の霧も、紅の光も、青釭の劍が揚げた鮮血であつたにちがひない。けれど又、彼のらしさは、それに蹴ちらされた諸兵の眼から見ると、やはり人間業と思へなかつたのも事實であらう。紅の光り——それは恐怖の光彩だといつてもいゝ。紫の霧！——それは武神の劍が修羅の中に現いて見せた愛の虹だと考へてもいゝ。

ともあれ、青釭の劍のよく斬れることには、趙雲も驚いた。この天佑と、この名劍に、阿斗はよく護られて、ふたゝび千軍萬馬の中を星の飛ぶやうに、父玄德のゐる方へ、またゝくうちに翔け去つた。

本社特選 花形十人拔大碁戰

(鈴木四段四局勝五局目)

第六回 持時間各九時間 (四目半コミ出し)

四段 鈴木秀子

先番 四段 宮下秀洋

一分以内切 消費時間 (白一・三五分 黒二・二〇分)

○五十へ七8 ●五一を七2
○五二る三9 ●五三を四22
○五四を二十 ●五五る十七
○五六を六… ●五七ぬ十四…

白に心配あり

評解 七段 加藤信

黒五一は白にとつて痛い處だ。此一着によつて黒が俄かに厚くなり、三五以下四九までの石に對しても大變な支援を與へてゐる。

◇白五二、五四は後手だが已むを得ない、これを怠つて黒から『わノ三』と走られたり、單に五三と並んでゐられても白の味が惡くていけない譜の如く打つた現在でも猶且つ黒から『わノ四』の突出しが先手に利いてゐて、今直ぐに此處は打たないにしても、黒に少からぬ餘裕が出來たわけである。

◇黒五五とコスミツケ白を五六と立たせて五七と飛んだのは、白十六、十八の二子を大きく取込んで模樣を張つたものであり、目下の動きとしてはまづこれ位のところであらう。

◇此處で一言したいことは、白から右邊十三、十五の間隙を衝きたいのが山々であるが、此處がちよつと打つて行けないのである。といふのは此處を打つことによつて黒の外壁が丈夫になると、右下隅の白石が危ない、即ち參考圖黒一と粘られると、白二以下と打つても、黒九までの如くなつて、此處に一眼しかないので、中央が厚くなつてからでは、脫出の途がない、白には此不安を擁してゐるために中央方面に何處からも存分な活動が出來ない憾みがある。黒の方でもまたそこを見てゐるので右邊上方は敢て地にしようとしないのだ。

參考圖

本社特選 廿四棋士 勝繼戰

第一回 (加藤六段一局勝二局目)

香落 八段 △萩原淳

六段 ▲加藤治郎

持時間各六時間 指手十七手 消費時間 △1分 ▲2分

▲七六歩 △三四歩
▲二六歩 △四四歩
▲二五歩 △三五歩 1
▲一六歩 △三三角
▲四八銀 △三二銀
▲一五歩 △四三銀
▲六八玉 △三四銀
▲七八玉 △四二飛 2
△六二玉

(圖は一五歩迄)

對局の朝

觀戰記 金易二郎

冷氣が肌に浸込む頃となつた。掃き清められた對局室には、澄んだそして慾望すら感じる朝の陽が流れてゐる。

部屋の中央には座布團に挾まれて盤、その側には武藏鐙が据ゑられてゐる。

前回、破竹の連勝を續けてゐた怪童丸、長谷川五段を迎擊で敗つた強豪加藤六段が風呂敷包みを提げて入つて來た。その小さな包みを床の間に置いて「秋原さんは、まだかな」腕時計を見ながら誰にいふとなく……

それから十分程過ぎて「お早う……朝は省線が混んで、二台を乘りそこねて了つた」

關西生れの秋原さんは大きな二十貫前後の巨體を悠々運ばせて、どつかり盤の前、床を背にして坐つた。

そして眼鏡をはずして、ハンケチを袖から出し

「長谷川君は四人目で惜しい事をして了ふた……」

「平手の得意だから、僕に勝たして、くれても……いやに長谷川君に味方をしますね」

「今日だけは、貴下は敵やから」

「あつ、はつくく……」

加藤君の明るい笑を秋風は運んで行つた、駒は進んで萩原君は『四二飛、三四銀』の兵法だ。

(本日の指了り盤面)

木村名人講評

近時の香落戰には下手の七筋飛車戰法を相當に見受ける。勿論これで對局者がその強味を發揮し得るなら贊成だが、公平な見地からは力戰となるから最善とはいばれぬ。

從つて本譜加藤六段の如く定跡を探つてこれに獨自の工夫を凝らす方が本筋である。

上手三四銀で四二飛の型は評者の體驗からも上手の最も有力な作戰と信ずる。

新刊紹介

▲法學論集—第十二冊第一號、(京城帝國大學編)(七十錢、京城・太平通二丁目、朝鮮行政學會)